

【重要】学内における感染症予防対策について

大学のキャンパスには、各地から多くの学生が集まります。また、大学生活では行動範囲が広がり、集団で活動する機会も増えるため、さまざまな感染症への感染リスクが高くなります。自分自身を感染症から守るため、さらには山口大学に在籍するすべての学生が、安心して健康的なキャンパスライフを過ごすことができるように、本学では特定の感染症について、「**入学前の予防接種完了**」と「**入学時の感染症罹患・予防接種状況の申告**」を強く勧奨しています。

1. 入学前のワクチン接種状況確認と予防接種完了について

大学内での感染症の発生および蔓延、またそれに伴う学業への影響を最小限にとどめるために、以下の感染症①～⑤に関する罹患歴の有無（かかったことがあるかどうか）、ワクチン接種状況（ワクチンを接種しているかどうか、またその回数）について、母子健康手帳等での確認をお願いいたします。さらに、下表を参考に、入学前までの予防接種完了にご協力をお願いいたします。

	感染症名	入学までにワクチン接種が必要となる場合
①	麻しん（はしか）	これまでにかかったことがなく（またはかかったかどうか不明）、かつ、確実な2回のワクチン接種歴がない（または接種しているか不明）場合（※麻しんワクチン、風しんワクチン1回＋MRワクチン1回の場合、2回接種とカウントします。） 麻しん・風しんは特に感染力が強く、成人で発症した場合重症化することがあります。免疫を持たない人がいることが流行につながるため、十分な免疫効果を得るために、2回のワクチン接種を完了しておくことが重要です。上記に該当する場合には、入学前までにMR（麻しん・風しん混合）ワクチンを接種してください（入学者全員）。
②	風しん （3日はしか）	
③	水痘（水ぼうそう）	これまでにかかったことがなく（またはかかったかどうか不明）、かつ、確実なワクチン接種歴がない（または接種しているか不明）場合 キャンパス内でこれらの感染症が散発しています。上記に該当する場合には、入学前までに少なくとも1回以上ワクチンを接種してください（入学者全員）。 ※将来医療・教育機関等で実習を行う人、海外留学を予定している人は2回のワクチン接種を推奨します。
④	流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	
⑤	結核	これまでにかかったことがない、BCG接種をしたことがない（または不明の）場合、入学前にBCGを接種する必要はありません。入学後に、胸部レントゲン検査を含む健康診断を全員に実施しています。

2. 入学時の感染症罹患歴・予防接種状況等に関する自己申告について

入学後、健康診断までに、上記感染症①～⑤の罹患歴及び予防接種状況に関する Web 調査を実施します。正確な回答ができるよう、予防接種に関連した記録（母子健康手帳の予防接種記録欄のコピーや予防接種証明書等）をご準備ください。また、教育実習、介護実習、病院実習を行う学部や、留学やインターンシップに参加する場合に、麻しん・風しん等に関する抗体検査結果や予防接種証明書の提出を求められることがあります。

※感染症の多くは、一人一人の日頃からの心がけ次第で未然に防ぐことができます。感染症の予防には、「ワクチン接種」のほか、「こまめな手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」等基本的な感染防止策を習慣的に行うことも大切です。急な体調不良に備え、マスク（不織布を推奨）や体温計をあらかじめ準備しておきましょう。また、普段から健康観察（体温測定とその記録）に取り組みましょう。

学内の感染症対策については、山口大学ホームページにて最新情報をご確認ください。

※例年冬から春先にかけて、インフルエンザがキャンパス内で流行します。シーズン毎のワクチン接種を推奨します。

この件に関する問い合わせ先：健康科学センター

電話：083-933-5160